

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
社会福祉援助技術現場実習	3	前・後期	4	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(かげやま、まるやま、だいにち) 影山、圓山、大日	授業の初回時に連絡、説明します。			

(英文科目名 Practical Training in Welfare Techniques)

授業の概要

各配属先において相談援助実習を行います。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。

現場において実習計画書に基づき、これまで学んだ相談援助に関する知識と技術を確認、点検しながら、合計180時間以上の実習を行います。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	実習生に求められる知識や相談援助の基本的技術を理解した上で実習に取り組むことができる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	相談援助の技法等を活用し、実習生としてふさわしい行動ができる。 適切な形式で実習記録を書くことができる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	個々人の尊厳を大切に相談者や利用者と接することができる。 実習施設の職員に対して真摯な態度で接することができる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	実習経験を通して社会や地域における福祉課題の理解を深め、その解決策を模索し、論述することができる。

授業の方法・講義手法の概要

現場実習・巡回による面談

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:持ち物等を確認し実習の準備をする、「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)

2	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
3	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
4	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
5	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
6	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
7	配属先での実習・実習巡回教員・施設職員との面談とふりかえり	事前学修:ここまでの実習を振り返り巡回指導に備える(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
8	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
9	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
10	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
11	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
12	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
13	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
14	配属先での実習・実習巡回教員・施設職員との面談とふりかえり	事前学修:ここまでの実習を振り返り面

		<p>談で検討する内容を考える(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
15	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
16	配属先での実習・中間まとめ	<p>事前学修:「実習中間のまとめ」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
17	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
18	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
19	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
20	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
21	配属先での実習・実習巡回教員・施設職員との面談とふりかえり	<p>事前学修:ここまでの実習を振り返り面談で検討する内容を考える(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
22	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
23	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
24	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
25	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p> <p>事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)</p>
26	配属先での実習(内容は実習先による)	<p>事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分)</p>

		事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
27	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
28	配属先での実習(内容は実習先による)	事前学修:「本日の目標」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
29	配属先での実習・実習巡回教員・施設職員との面談とふりかえり	事前学修:ここまでの実習を振り返り面談で検討する内容を考える(90分) 事後学修:当日の実習ノートを記録する(90分)
30	配属先での実習・全体まとめ	事前学修:「実習全体のまとめ」を考え実習ノートに記載する(90分) 事後学修:お礼状を書く、書類受け取りなどの事後訪問を行う(90分)

成績評価の方法・基準

全ての実習日に休みなく出勤することを前提に、実習中の積極性、実習日誌、実習先からの評価等による総合的に評価します。

指定教科書

特になし

参考文献等

実習施設での指導・助言も参考にして文献や資料を参照してください。

履修上の留意点

社会福祉援助技術現場実習は前後期通年での履修が必要です。また、社会福祉援助技術現場実習指導①②③と併せて単位認定されます。

実務経験